

(9) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県国際交流財団
- 2 目 的 多文化共生の社会づくりを目指し、県民、民間団体、行政が一体となって全県的な国際交流活動を推進するとともに、多様な文化への理解と諸外国との協力関係を深め、もって国際性豊かな県民の育成と地域の活性化を図り、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成23年3月24日
(財団法人 鳥取県国際交流財団設立許可年月日
平成2年11月1日)
- 4 設立登記年月日 平成23年4月1日
(財団法人 鳥取県国際交流財団設立登記年月日
平成2年11月2日)
- 5 基本財産 出えん金 630,728,717円
鳥取県出えん金 500,320,000円
関係市町村出えん金 100,000,000円
民間団体出えん金 30,408,717円
- 6 役員等 評議員 12人 理事 13人 監事 2人
評議員長 大月悦子(鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク会長)
評議員 岡田克夫(公益社団法人鳥取県医師会常任理事)
〃 門脇誠司(鳥取県観光交流局長)
〃 北村晃(元鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会会長)
〃 小山富見男(前学校法人鳥取家政学園鳥取敬愛高等学校校長)
〃 崎原麗霞(国立大学法人鳥取大学教育センター准教授)
〃 高岡繁(行政書士)
〃 原利一郎(一般社団法人鳥取県薬剤師会会長)

| | |
|-------|---|
| 評議員 | 中井大造 (米子国際交流協会会長) |
| 〃 | 西村瑞穂 (青年海外協力隊鳥取県OV会会員) |
| 〃 | 村田佳壽子 (タイム (とっとり国際交流連絡会) 会長) |
| 〃 | 廖汝幸 (とっとり青友会副会長) |
| 理事長 | 能勢隆之 (前国立大学法人鳥取大学学長) |
| 副理事長 | 野川聡 (鳥取県副知事) |
| 常務理事 | 内田克彦 |
| 理事 | 矢田克明 (株式会社山陰合同銀行執行役員鳥取営業部長) |
| 〃 | 福田智博 (株式会社鳥取銀行常務執行役員) |
| 〃 | 西原昌彦 (前社会福祉法人鳥取県厚生事業団理事長) |
| 〃 | 野坂康夫 (前米子市長) |
| 〃 | 安藤孝之 (国立大学法人鳥取大学国際交流センター教授・副センター長) |
| 〃 | 渡邊眞子 (ドイツを語る会事務局長) |
| 〃 | 高増華 (リコーITソリューションズ株式会社社員) |
| 〃 | アベ山田マリアルイサ (前Toriフレンドnetwork会長) |
| 〃 | 川口斐斐 (多文化交流教室日華ふれんず代表) |
| 〃 | 徐萍 (米子市外国人児童・生徒日本語支援員) |
| 監事 | 藤本英興 (鳥取信用金庫相談役) |
| 〃 | 大谷芳徳 (鳥取県商工会議所連合会幹事長) |
| 7 職員 | 13人 (うち県派遣職員 1人) |
| 8 事務所 | 本所 鳥取市扇町21番地 倉吉事務所 倉吉市東巖城町2番地 米子事務所 米子市末広町294番地 |

平成29年度事業実施状況

1 地域の国際交流と多文化共生推進事業（公益目的事業1）

(1) 地域の国際交流推進

ア 多言語情報発信

① ホームページの運営

財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語版）を運営した。

財団ホームページアドレス <http://www.torisakyu.or.jp/>

② 多言語メールマガジンの配信

国際交流イベントなどの情報を速報性をもって読者に提供するためのメールマガジン「T I M」（英語・中国語・タガログ語の外国語版「T o r i m o」は携帯電話向け）を配信した。また、日頃から防災に備える意識付けのための情報を「防災T o r i m o」として配信した。

③ 機関紙の発行

財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を発行した。（A4・一部カラー刷 12ページ 各号2,000部、一部記事については英語・中国語表記）

イ ボランティア活動の推進と活性化

① ボランティア登録制度の運営

通訳、翻訳、日本語教育、交流活動、ホームステイ、ホームビジット及びホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動を推進した。

② ホームステイ活性化プログラムの実施

民間団体等が実施するホームステイ受入事業と連携しながら、ホームステイを通じた地域における国際理解の一層の促進を図るためのホームステイ受入講座を実施した。受入家庭には保険加入の手続きを行い、安心して活動できるよう保険加入手続きや一部活動費を支援した。

③ 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施

平成30年～33年にかけて開催される大規模スポーツ大会やキャンプに多くの外国人選手・関係者の来県が予定される中、本県として万全のおもてなしができる受入態勢の構築に向けて、スポーツ文化教養・各競技の専門用語・スポーツ選手への対応心得などを習得していただき、大会やキャンプにおける各場面での通訳リーダーとなる人材の育成を目的とする講座を、県スポーツ課からの委託を受けて実施した。

④ 団体等との連携

県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者及び市町村担当者と地域の国際交流の活性化のために連携して活動していくための意見交換（連絡会議）を行うとともに、鳥取大学・鳥取市国際交流プラザと連携して来日間もない留学生を対象にしたオリエンター

ションを実施した。また、先進的な取組を学び、財団の事業に反映させていくため、地域国際化協会連絡協議会等における研修や意見交換の場に参加した。地域連携としては、昨年度に引き続き、中学生の職場体験活動（2校）への協力、「グラウンド・ゴルフ国際交流大会 YUR I HAMA 2017」の実施にあたり、翻訳や通訳のコーディネーター等大会運営に協力した。また、市町教育委員会事務局及び小中学校と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施した。

ウ 県民の国際理解推進

① ワールドアラカルトの実施

鳥取空港「空の日」のイベントに合わせて、幅広く来場される県民に対して財団ならではの国際色豊かな催しと文化体験の場を提供した。

② 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験など様々な国の文化に触れる機会を提供することを目的に実施した。出張型は、県内すべての小学校から募集を受け、応募があった31校すべての要請に応じて派遣した。

③ 国際交流フェスティバルの実施

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、現在県内3地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバル・国際交流事業を共催で実施した。

④ 「話してみよう韓国語」鳥取大会の運営

鳥取県と繋がり深い韓国の文化を理解するために効果的な韓国語学習の支援と普及を目的として、成果を発表する場として鳥取大会を運営した。

⑤ 多文化共生出前講座の実施

公的機関や民間団体などが主体となって実施される研修会等に要請に応じて講師を派遣し、多文化共生社会の実現に向けて広く県民の意識啓発を図る出前講座を実施した。

⑥ 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施

国際的視野を持った青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる相互交流を促進するため、同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験プログラム、ホームステイ、鳥取湖陵高・青翔開智高への訪問等を通じた交流事業を展開した。また、県内の高校生をバーモント州に派遣した。派遣中は、ホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、学校生活体験、大学見学、環境に関する学習などを行った。

⑦ 多文化共生のまちづくりネットワーク推進事業

県内の在住外国人の定住化が進む中で、多様な文化を持つ人々が尊重し合いながら生活していくために、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者をメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を28年度から継続して県内三地域で組織している。そこで出た意見や要望を今後の財団事業に反映させたり、全県的な多文化共生社会の推進のための提言として活かしていくとともに、必要な取組を協働で企画し実

施した。また、29年度はネットワーク会議の代表者と行政等の関係機関の実務者も加わった「多文化共生推進会議」を開催した。(一般財団法人自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業助成事業」)

⑧ ジャマイカ交流紹介推進業務の実施

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、ジャマイカのホストタウンとしての機運醸成を図るため、県内で開催される国際交流イベントでジャマイカブースの運営やミニコンサートを行ったほか、料理教室やワークショップなど県民がジャマイカ文化等にふれる機会として「ジャマイカを知る会」を開催した。

エ 私費留学生奨学金の支給

① 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生に月額2万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促した。(鳥取大学3名(モンゴル、エチオピア、中国各1名)、鳥取短期大学1名(ハンガリー)、公立鳥取環境大学7名(中国6名、ベトナム1名))

② 環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度

在県時に地域における国際交流活動への協力を通じて県民の国際理解促進に貢献し、将来、鳥取県と友好交流地域間(韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、中国河北省、ロシアハバロフスク地方)の架け橋となり得る人材の育成を図ることを目的に月額2万円の奨学援助を行った。(前期 鳥取大学3名:韓国江原道出身1名、中国吉林省出身2名、公立鳥取環境大学1名:中国吉林省出身1名、後期 鳥取大学4名:韓国江原道出身3名・中国吉林省出身1名、公立鳥取環境大学1名:中国吉林省出身1名)

オ 交流拠点の運営

全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として本所(鳥取市:県からの委託を受けて「鳥取県国際交流センター」を管理運営)、倉吉事務所(鳥取県中部総合事務所別館内)及び米子事務所(米子コンベンションセンター内)を設置・運営した。また、各拠点の情報提供機能を整備充実させるため、一般図書、日本語教材、視聴覚資料、海外新聞及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸出しに供したほか、毎月第2日曜日(午後2時~午後4時)に本所において、在留資格の変更等の手続について申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営しているほか、拠点施設を活かした国際理解講座等の取組を実施した。

(2) 多文化共生推進

ア コミュニケーション支援

① 専門通訳ボランティアの派遣

医療通訳ボランティア(要請に応え医療・保健機関等に派遣)及びコミュニティ通訳ボランティア(保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など言葉の支援の要請が多様化している現状でのより具体的な支援として、外国出身者がより円滑な社会生活を行うため、また、公的機関等での適切な制度説明や手続きを促すために必要な言葉の支援)

を、外国出身者や機関からの要請に応じて303件（医療：236件、コミュニティ67件）派遣した。

② 国際交流コーディネーターの配置

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらに3者通話機能も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行った。また、県民の語学のブラッシュアップのためのチャットや海外事情に関する情報提供、ホームページやメールマガジン、機関紙等の情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座等の講師としても派遣した。

③ 日本語クラスの運営

県内に在住する色々な立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、毎週水曜日と日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営した。また、クラスに参加しにくい人に対して、希望の日程にマンツーマンでボランティアが対応するプライベートレッスンを実施した。

④ 防災・災害時支援事業の実施

大規模災害時に災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除くため、外国人が防災についての知識を得たり、実際に体験してみることで、いざというときに備える意識を高めるため、日本語クラス等在住外国人が集まりやすい機会に防災教室を開催した。また、新たにベトナム語を加えた防災ハンドブックと携帯カードを制作、配布した。

イ 人材の育成

① 医療通訳ボランティア育成事業の実施

言語及び医療の専門知識、対人援助能力など、医療通訳ボランティア登録者としてのさらなる資質向上を目指したフォローアップ講座を開催した。また、登録者の自発的な活動を促進するため、勉強会や意見交換会の会場確保や講師の派遣費用を負担するなど、側面的な支援を行った。

② 日本語講師・ボランティア養成講座の実施

地域の日本語教育の中核となる人材及び日本語教育ボランティアのスキルアップを目的とする講座を開催した。

2 海外移住・海外技術協力支援事業（公益目的事業2）

(1) 県費留学生・研修員等の受入れ

鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」又は「海外技術研修員」として招へいし、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となってもらうことを目的に、県から委託を受けて受入れに係る研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。（韓国江原道1名、中国吉林省1名、ジャマイカウエストモアランド県1名、ブラジル1名）

3 山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業（公益目的事業3）

(1) 山陰・夢みなと博覧会記念基金による助成

県民参加型の地域の国際化に資する民間団体主催事業を支援するため、すべての海外渡航費の3分の1（ただし、米子ソウル便及び環日本海定期貨客船航路を利用する場合は3分の2）に他の助成対象経費の2分の1を加えた額を他パスポート取得支援として1人あたり5千円を助成した。また、県内の小・中・高等学校等が実施する海外教育旅行に対しても助成を行った。なお、28年度より、公的助成（国または地方公共団体）との併用については、当該補助金を事業費より控除した後の額を助成対象事業費とするほか、継続事業において連続して5回を経過したものについては、全体（助成対象者数）の参加者が20名以上の事業に限り、さらなる事業の発展を期待して新規の参加者数（助成対象者数）の3分の1（従前2分の1）以上に緩和している。また、米子香港便の就航に伴い、鳥取県と香港、鳥取県と香港を経由した第三国との交流を促し相互交流を活性化させるため、従来、米子ソウル便及び環日本海定期貨客船利用の場合に認めている渡航費の補助率を優遇する（海外教育旅行では助成金の上乗せ）措置を継続した。

| | |
|---------------|-------------------|
| 民間国際交流・協力事業助成 | 27事業（16,021,000円） |
| 海外教育旅行助成 | 9事業（3,847,000円） |

正味財産増減計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|---------------|---------------|--------------|-----|
| | 円 | 円 | 円 | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 4,925,758 | 9,702,929 | △ 4,777,171 | |
| 特定資産運用益 | 7,814,957 | 7,811,863 | 3,094 | |
| 受取会費 | 190,000 | 120,000 | 70,000 | |
| 受取補助金等 | 82,702,720 | 76,060,810 | 6,641,910 | |
| 受取地方公共団体補助金 | 49,765,865 | 46,392,436 | 3,373,429 | |
| 受取鳥取県事業受託金 | 31,636,855 | 28,468,374 | 3,168,481 | |
| 受取民間助成金 | 1,300,000 | 1,200,000 | 100,000 | |
| 受取負担金 | 150,000 | 150,000 | 0 | |
| 受取寄附金 | 12,130,133 | 19,573,827 | △ 7,443,694 | |
| 雑収益 | 4,874 | 5,106 | △ 232 | |
| 経常収益計 | 107,918,442 | 113,424,535 | △ 5,506,093 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 108,317,931 | 110,741,298 | △ 2,423,367 | |
| 職員給与費 | 23,231,407 | 22,819,030 | 412,377 | |
| その他事業費 | 85,086,524 | 87,922,268 | △ 2,835,744 | |
| 管理費 | 3,091,549 | 2,982,106 | 109,443 | |
| 職員給与費 | 1,222,705 | 1,201,001 | 21,704 | |
| その他管理費 | 1,868,844 | 1,781,105 | 87,739 | |
| 経常費用計 | 111,409,480 | 113,723,404 | △ 2,313,924 | |
| 当期経常増減額 | △ 3,491,038 | △ 298,869 | △ 3,192,169 | |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 固定資産除却損 | 18,375 | 0 | 18,375 | |
| 経常外費用計 | 18,375 | 0 | 18,375 | |
| 当期経常外増減額 | △ 18,375 | 0 | △ 18,375 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 3,509,413 | 55,392 | △ 3,564,805 | |
| 一般正味財産期首残高 | 19,940,752 | 19,885,360 | 55,392 | |
| 一般正味財産期末残高 | 16,431,339 | 19,940,752 | △ 3,509,413 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 基本財産運用益 | △ 14,549 | △ 14,549 | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | △ 12,130,133 | △ 19,573,827 | 7,443,694 | |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 12,144,682 | △ 19,588,376 | 7,443,694 | |
| 指定正味財産期首残高 | 1,257,633,035 | 1,277,221,411 | △ 19,588,376 | |
| 指定正味財産期末残高 | 1,245,488,353 | 1,257,633,035 | △ 12,144,682 | |
| III 正味財産期末残高 | 1,261,919,692 | 1,277,573,787 | △ 15,654,095 | |

正味財産増減計算書内訳表

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|---------------|---------------|-------------|--------|---------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,987,152 | 2,938,606 | | 4,925,758 |
| 特定資産運用益 | 7,814,957 | | | 7,814,957 |
| 受取会費 | | 190,000 | | 190,000 |
| 受取補助金等 | 81,039,523 | 1,663,197 | | 82,702,720 |
| 受取地方公共団体補助金 | 48,473,168 | 1,292,697 | | 49,765,865 |
| 受取鳥取県事業受託金 | 31,266,355 | 370,500 | | 31,636,855 |
| 受取民間助成金 | 1,300,000 | | | 1,300,000 |
| 受取負担金 | 150,000 | | | 150,000 |
| 受取寄附金 | 12,130,133 | | | 12,130,133 |
| 雑収益 | 54 | 4,820 | | 4,874 |
| 経常収益計 | 103,121,819 | 4,796,623 | 0 | 107,918,442 |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 108,317,931 | | | 108,317,931 |
| 職員給与費 | 23,231,407 | | | 23,231,407 |
| その他事業費 | 85,086,524 | | | 85,086,524 |
| 管理費 | | 3,091,549 | | 3,091,549 |
| 職員給与費 | | 1,222,705 | | 1,222,705 |
| その他管理費 | | 1,868,844 | | 1,868,844 |
| 経常費用計 | 108,317,931 | 3,091,549 | 0 | 111,409,480 |
| 当期経常増減額 | △ 5,196,112 | 1,705,074 | 0 | △ 3,491,038 |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 固定資産除却損 | 18,375 | | | 18,375 |
| 経常外費用計 | 18,375 | 0 | 0 | 18,375 |
| 当期経常外増減額 | △ 18,375 | 0 | 0 | △ 18,375 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 5,214,487 | 1,705,074 | 0 | △ 3,509,413 |
| 一般正味財産期首残高 | △ 27,890,001 | 47,830,753 | 0 | 19,940,752 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 33,104,488 | 49,535,827 | 0 | 16,431,339 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 基本財産運用益 | △ 14,549 | | | △ 14,549 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 12,130,133 | | | △ 12,130,133 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 12,144,682 | 0 | 0 | △ 12,144,682 |
| 指定正味財産期首残高 | 1,053,633,035 | 204,000,000 | 0 | 1,257,633,035 |
| 指定正味財産期末残高 | 1,041,488,353 | 204,000,000 | 0 | 1,245,488,353 |
| III 正味財産期末残高 | 1,008,383,865 | 253,535,827 | 0 | 1,261,919,692 |

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|------------------------|---------------|---------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 |
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 普通預金 | 31,075,162 | 16,763,596 | 14,311,566 |
| 未収金 | 690 | 36,188 | △ 35,498 |
| 前払金 | 91,775 | 147,773 | △ 55,998 |
| 立替金 | 0 | 6,795 | △ 6,795 |
| 流動資産合計 | 31,167,627 | 16,954,352 | 14,213,275 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産資産 | 562,263,227 | 307,263,227 | 255,000,000 |
| 基本財産債券 | 68,326,399 | 323,340,948 | △ 255,014,549 |
| 基本財産合計 | 630,589,626 | 630,604,175 | △ 14,549 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付積立資産 | 19,960,296 | 17,439,064 | 2,521,232 |
| 山陰・夢みなと博覧会記念 基金積立資産 | 0 | 21,302,000 | △ 21,302,000 |
| 山陰・夢みなと博覧会記念 基金債券 | 600,000,000 | 600,000,000 | 0 |
| 特定資産合計 | 619,960,296 | 638,741,064 | △ 18,780,768 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 1 | 21,876 | △ 21,875 |
| 財源調整積立資産 | 15,869,035 | 18,869,035 | △ 3,000,000 |
| 電話加入権 | 224,952 | 224,952 | 0 |
| その他固定資産合計 | 16,093,988 | 19,115,863 | △ 3,021,875 |
| 固定資産合計 | 1,266,643,910 | 1,288,461,102 | △ 21,817,192 |
| 資産合計 | 1,297,811,537 | 1,305,415,454 | △ 7,603,917 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 14,616,752 | 9,362,280 | 5,254,472 |
| 前受会費 | 48,500 | 96,000 | △ 47,500 |
| 預り金 | 621,797 | 365,523 | 256,274 |
| 未払消費税等 | 644,500 | 578,800 | 65,700 |
| 流動負債合計 | 15,931,549 | 10,402,603 | 5,528,946 |
| 2 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 19,960,296 | 17,439,064 | 2,521,232 |
| 固定負債合計 | 19,960,296 | 17,439,064 | 2,521,232 |
| 負債合計 | 35,891,845 | 27,841,667 | 8,050,178 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | | | |
| 寄附金 | 1,245,627,444 | 1,257,757,577 | △ 12,130,133 |
| 基本財産運用益 | △ 139,091 | △ 124,542 | △ 14,549 |
| 指定正味財産合計 | 1,245,488,353 | 1,257,633,035 | △ 12,144,682 |
| (うち基本財産への充当額) | (630,589,626) | (630,604,175) | (△ 14,549) |
| (うち特定資産への充当額) | (600,000,000) | (621,302,000) | (△ 21,302,000) |
| 2 一般正味財産 | 16,431,339 | 19,940,752 | △ 3,509,413 |
| 正味財産合計 | 1,261,919,692 | 1,277,573,787 | △ 15,654,095 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,297,811,537 | 1,305,415,454 | △ 7,603,917 |

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

1 満期保有目的の債券 …… 移動平均法による原価法によっている。ただし、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法(定額法)によっている。

2 その他の有価証券
時価のあるもの ……

期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

時価のないもの ……

移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 ……

期末退職給与の自己都合退職要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| 基本財産 | | | | |
| 基本財産資産 | 307,263,227 | 255,000,000 | 0 | 562,263,227 |
| 基本財産債券 | 323,340,948 | 0 | 255,014,549 | 68,326,399 |
| 小 計 | 630,604,175 | 255,000,000 | 255,014,549 | 630,589,626 |
| 特定資産 | | | | |
| 基金積立資産 | 21,302,000 | 0 | 21,302,000 | 0 |
| 基金債券 | 600,000,000 | 0 | 0 | 600,000,000 |
| 退職給付積立金 | 17,439,064 | 2,521,232 | 0 | 19,960,296 |
| 小 計 | 638,741,064 | 2,521,232 | 21,302,000 | 619,960,296 |
| 合 計 | 1,269,345,239 | 257,521,232 | 276,316,549 | 1,250,549,922 |

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産 からの充当額) | (うち一般正味財産 からの充当額) | (うち負債に対応 する額) |
|---------|---------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 基本財産資産 | 562,263,227 | (562,263,227) | | |
| 基本財産債券 | 68,326,399 | (68,326,399) | | |
| 小 計 | 630,589,626 | (630,589,626) | 0 | 0 |
| 特定資産 | | | | |
| 基金積立資産 | 0 | 0 | | |
| 基金債券 | 600,000,000 | (600,000,000) | | |
| 退職給付積立金 | 19,960,296 | | | (19,960,296) |
| 小 計 | 619,960,296 | (600,000,000) | 0 | (19,960,296) |
| 合 計 | 1,250,549,922 | (1,230,589,626) | 0 | (19,960,296) |

(9) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---------|-----------|-----------|-------|
| その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 1,383,900 | 1,383,899 | 1 |
| 合 計 | 1,383,900 | 1,383,899 | 1 |

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|-----------------------------|-------------|-------------|---------|
| 基本財産 | | | |
| 基本財産債券 | | | |
| 国 債 | | | |
| 山陰合同銀行(湖山出張所) 利付国債(10年)299回 | 4,301,849 | 4,360,630 | 58,781 |
| 鳥取銀行(鳥取県庁支店) 利付国債(10年)306回 | 10,019,550 | 10,304,000 | 284,450 |
| 鳥取信用金庫(湖山支店) 利付国債(10年)306回 | 10,005,000 | 10,304,000 | 299,000 |
| 地方債 | | | |
| 鳥取県 鳥取県平成21年度第13号債 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 鳥取県 鳥取県平成22年度第9号債 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| 鳥取県 鳥取県平成23年度第8号債 | 4,000,000 | 4,000,000 | 0 |
| 特定資産 | | | |
| 基金債券 | | | |
| 地方債 | | | |
| 鳥取県 鳥取県平成20年度第5号債 | 600,000,000 | 600,000,000 | 0 |
| 合 計 | 668,326,399 | 668,968,630 | 642,231 |

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|----------------|-----|-------|------------|------------|-------|-------------|
| 補助金 | | | | | | |
| 財団運営事業費補助金 | 鳥取県 | 0 | 45,348,467 | 45,348,467 | 0 | — |
| 財団リニューアル事業費補助金 | 鳥取県 | 0 | 4,417,398 | 4,417,398 | 0 | — |
| 合 計 | | 0 | 49,765,865 | 49,765,865 | 0 | |

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 内 容 | 金 額 |
|-----------|------------|
| 経常収益への振替額 | |
| 受取寄付金 | 12,130,133 |
| 合 計 | 12,130,133 |

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|----------|--|---|---------------|
| (流動資産) | | | |
| 普通預金 | | | 31,075,162 |
| | 山陰合同銀行(湖山出張所) 普通預金 2471962 | 運転資金として | 11,432,392 |
| | 鳥取銀行(湖山支店) 普通預金 2785511 | 運転資金として | 62,500 |
| | 鳥取銀行(鳥取県庁支店) 普通預金 0005414 | 運転資金として | 144,907 |
| | 鳥取信用金庫(湖山支店) 普通預金 0224478 | 運転資金として | 140,000 |
| | 山陰合同銀行(鳥取県庁支店) 普通預金 2321113 公3(共通) | 山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業の運転資金として | 19,295,363 |
| 未収金 | | | 690 |
| | ジャマイカ研修員宿舎家財保険中途解約返戻金 | | 690 |
| 前払金 | | | 91,775 |
| | ボランティア活動保険料、福祉サービス総合補償保険料、派遣職員傷害保険料、研修員宿舎家財総合保険料 | | 91,775 |
| 流動資産合計 | | | 31,167,627 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | | | |
| 基本財産資産 | | | 562,263,227 |
| | 山陰合同銀行(湖山出張所) 定期預金 6594056 公益(共通) | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 | 4,503,227 |
| | 大和ネクスト銀行 定期預金 2596989 (1/3) 公益(共通) | | 302,760,000 |
| | 大和ネクスト銀行 定期預金 2596989 (2/3) 公益(共通) | | 51,000,000 |
| | 大和ネクスト銀行 定期預金 2596989 (3/3) 法人会計 | 運用益を管理費の財源として使用している。 | 204,000,000 |
| 基本財産債券 | | | 68,326,399 |
| | 鳥取県平成21年度第13号債(鳥取県債) 公益(共通) | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 | 30,000,000 |
| | 鳥取県平成22年度第9号債(鳥取県債) 公益(共通) | | 10,000,000 |
| | 鳥取県平成23年度第8号債(鳥取県債) 公益(共通) | | 4,000,000 |
| | 第306回利付国債債券10年(鳥取銀行) 公益(共通) | | 10,019,550 |
| | 第299回利付国債債券10年(山陰合同銀行) 公益(共通) | | 4,301,849 |
| | 第306回利付国債債券10年(鳥取信用金庫) 公益(共通) | | 10,005,000 |
| 特定資産 | | | 19,960,296 |
| 退職給付積立資産 | | | 19,960,296 |
| | 鳥取銀行(鳥取県庁支店) 定期預金 0000683 公益(共通) | 職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産 | 19,960,296 |
| | 山陰・夢みなと博覧会記念基金債券 | | 600,000,000 |
| | 鳥取県平成20年度第5号債(鳥取県債) 公3(共通) | 山陰・夢みなと博覧会記念基金の債券であり、運用益を同基金活用事業の財源として使用している。 | 600,000,000 |
| その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | | | 1 |
| | ファイルサーバー一式 法人会計 | | 1 |
| 財源調整積立資産 | | | 15,869,035 |
| | 山陰合同銀行(湖山出張所) 定期預金 6574211 法人会計 | | 15,869,035 |
| 電話加入権 | | | 224,952 |
| | | 法人会計 | 224,952 |
| 固定資産合計 | | | 1,266,643,910 |
| 資産合計 | | | 1,297,811,537 |
| (流動負債) | | | |
| 未払金 | | | 14,616,752 |
| | 鳥取県 | 財団運営事業費補助金不用返納額 | 3,399,533 |
| | 鳥取県 | 財団リニューアル事業費補助金 | 167,602 |
| | 鳥取県 | 鳥取県自治体職員協力交流研修員受入事業委託費不用返納額 | 799,177 |
| | 鳥取県 | 鳥取県・江原道職員相互派遣研修員受入事業委託費不用返納額 | 24,624 |
| | 鳥取県 | 鳥取県ラブラブル交流促進事業委託費不用返納額 | 1,292,168 |
| | 鳥取県 | 通社ボランティアスキルアップ講師委託費不用返納額 | 279,890 |
| | 鳥取県 | 冷暖房加算額(米子事務所) | 111,313 |
| | 鳥取県 | 鳥取県国際交流センター管理運営委託費不用返納額 | 508,706 |
| | 鳥取県鳥取空港管理事務所 | 光熱水料費及び清掃料 | 38,919 |
| | 鳥取県鳥取空港管理事務所 | 冷暖房加算額(倉吉事務所) | 27,053 |
| | 鳥取県中部総合事務所 | 光熱水費(倉吉事務所) | 107,467 |
| | 鳥取県中部総合事務所 | 光熱水費(米子事務所) | 75,831 |
| | (公財)とっとりコンベンションビューロー | 職員時間外手当3月分 | 366,983 |
| | 職員 | カウンター職員及び事務補助員賃金(3/16~3/31分) | 101,640 |
| | 職員 | 国際交流コーディネーター賃金(3/16~3/31分)及び旅費 | 176,000 |
| | 職員 | 日本年金機構鳥取年金事務所 | 584,966 |
| | (一社)鳥取県労働基準協会東部支部 | 社会保険料2、3月分 | 5,520 |
| | (株)山陰合同銀行 | インターネットバンキング基本手数料3月分 | 3,240 |
| | 日ノ丸印刷(株) | 図書利用者カード印刷代 | 27,000 |
| | 日ノ丸印刷(株) | 封筒印刷代 | 30,240 |
| | ヤマト運輸(株) | メール便等送料3月分(本所) | 112,895 |
| | ヤマト運輸(株) | メール便等送料3月分(米子事務所) | 82,691 |
| | (株)ケー・オー・エイ | コピー代3月分(本所) | 21,685 |
| | (株)ケー・オー・エイ | BEAT基本サービス料3月分 | 13,824 |
| | (株)ケー・オー・エイ | コピー機リース料3月分(米子事務所) | 16,275 |
| | (株)ケー・オー・エイ | コピー料金3月分(米子事務所) | 11,292 |
| | (株)ケー・オー・エイ | ホワイトボード購入 | 70,200 |
| | とりぎんリース(株) | コピー機リース料3月分(本所) | 24,926 |
| | とりぎんリース(株) | コピー機リース料3月分(倉吉事務所) | 11,934 |
| | とりぎんリース(株) | パソコンリース料3月分(本所) | 55,694 |
| | とりぎんリース(株) | パソコンリース料3月分(米子事務所) | 13,629 |
| | (株)バレット | 用品購入代(本所) | 58,686 |
| | OCN | インターネット回線利用料3月分 | 6,458 |
| | NTTファイナンス(株) | 電話料金3月分(本所) | 64,092 |
| | NTTファイナンス(株) | 電話料金3月分(倉吉事務所) | 4,572 |
| | KDDI(株) | 電話料金3月分(米子事務所) | 2,293 |

(9) 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|-------------------------|-----------------------------|---------------|
| | (有) ジャブプロ | HP保守・維持管理委託費3月分 | 21,600 |
| | (一財) ダイバーシティ研究所 | メールマガジン配信システム管理委託費3月分 | 21,600 |
| | 専門通訳ボランティア1名 | 専門通訳ボランティア活動協賛金・旅費 | 1,563 |
| | (株) 衣笠商会 | 電話設備リース料3月分(本所) | 11,880 |
| | オリックス自動車(株) | 財団車リース料3月分(本所) | 14,040 |
| | (有) 日本海新聞湖山西専売所 | 新聞購読料3月分(本所) | 2,260 |
| | 読売センター湖山 | 新聞購読料3月分(本所) | 6,758 |
| | 朝日新聞倉敷販売(株) | 新聞購読料3月分(本所) | 6,186 |
| | (株) 中央新報サービス鳥取営業所 | 新聞購読料3月分(本所) | 2,937 |
| | 日本海新聞販売センター倉吉東店 | 新聞購読料3月分(倉吉事務所) | 2,260 |
| | (有) KSネットワーク | 新聞購読料3月分(倉吉事務所) | 2,130 |
| | 日本海新聞錦海専売所 | 新聞購読料3月分(米子事務所) | 2,260 |
| | 朝日新聞倉敷販売(株) 米子中央支店 | 新聞購読料3月分(米子事務所) | 1,132 |
| | (株) 中央新報サービス米子営業所 | 新聞購読料3月分(米子事務所) | 2,937 |
| | 読売センター米子 | 新聞購読料3月分(米子事務所) | 3,665 |
| | エパークリーン(株) | 清掃委託費3月分(倉吉事務所) | 4,500 |
| | (株) かいけ | 清掃委託費3月分(米子事務所) | 12,024 |
| | (有) 青空カンパニー | 一般廃棄物処理委託費3月分(米子事務所) | 4,320 |
| | 入江公認会計士事務所 | 会計税務顧問報酬3月分 | 10,800 |
| | KDDI(株) | ジャマイカ研修員通信費(モバイルルーター)3月分 | 5,079 |
| | KDDI(株) | ジャマイカ研修員モバイルルーター解約料 | 37,567 |
| | (有) 東部資源リサイクル | ジャマイカ研修員用品等廃棄料 | 28,890 |
| | (株) アダックス | 開所式用看板作成費 | 12,960 |
| | 日本メディアシステム(株) | 電話料金3月分(本所) | 9,636 |
| | 県民ふれあい会館 | 電気代3月分(本所) | 6,950 |
| | (有) 佐々木運送 | 移転・引っ越し業務委託費用 | 592,920 |
| | (有) 佐々木運送 | 移転・引っ越しに伴う不用品処分費用 | 75,600 |
| | (有) ケイディエス | 移転に伴う蛍光管交換作業費用 | 109,080 |
| | (株) シセイ堂デザイン | 移転に伴う展示物デザイン及び搬入業務委託費用 | 745,200 |
| | 若桜ふるさと国際交流の会 | 山陰・伊予など博覧会記念基金活用事業助成金 | 178,000 |
| | 特定非営利活動法人ウルトラスポーツクラブ | 山陰・伊予など博覧会記念基金活用事業助成金 | 1,856,000 |
| | 鳥取県日韓親善協会連合会 | 山陰・伊予など博覧会記念基金活用事業助成金 | 1,904,000 |
| | 湯梨浜町グラウンド・ゴルフ協会 | 山陰・伊予など博覧会記念基金活用事業助成金 | 221,000 |
| 前受会費 | | | 48,500 |
| | 賛助会費前受分(個人会員21名、学生会員1名) | | 48,500 |
| 預り金 | | | 621,797 |
| | 専門通訳ボランティア | 源泉徴収税額3月分 | 1,298 |
| | 役職員 | 社会保険料2、3月分 | 569,899 |
| | 役職員 | 住民税3月分 | 50,600 |
| 未払消費税等 | | | 644,500 |
| | 鳥取税務署 | 平成29年度消費税等確定納付額 | 644,500 |
| 流動負債合計 | | | 15,931,549 |
| (固定負債) | | | |
| | 退職給付引当金 | | 19,960,296 |
| | 職員 | 公益(共通) 職員に対する退職金の支払いに備えた引当金 | 19,960,296 |
| 固定負債合計 | | | 19,960,296 |
| 負債合計 | | | 35,891,845 |
| 正味財産 | | | 1,261,919,692 |

附 属 明 細 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

| 区分・資産の種類 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 基本財産資産 | 307,263,227 | 255,000,000 | 0 | 562,263,227 |
| 山陰合同銀行(湖山出張所) 定期預金 6594056 | 4,503,227 | 0 | 0 | 4,503,227 |
| 大和ネクスト銀行 定期預金 2596989 | 302,760,000 | 255,000,000 | 0 | 557,760,000 |
| 基本財産債券 | 323,340,948 | 0 | 255,014,549 | 68,326,399 |
| 山陰合同銀行(湖山出張所) 利付国債(10年)299回 | 4,303,698 | 0 | 1,849 | 4,301,849 |
| 鳥取銀行(鳥取県庁支店) 利付国債(10年)306回 | 10,029,750 | 0 | 10,200 | 10,019,550 |
| 鳥取信用金庫(湖山支店) 利付国債(10年)306回 | 10,007,500 | 0 | 2,500 | 10,005,000 |
| 鳥取県 鳥取県平成19年度第4号債 | 255,000,000 | 0 | 255,000,000 | 0 |
| 鳥取県 鳥取県平成21年度第13号債 | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 |
| 鳥取県 鳥取県平成22年度第9号債 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 鳥取県 鳥取県平成23年度第8号債 | 4,000,000 | 0 | 0 | 4,000,000 |
| 基本財産計 | 630,604,175 | 255,000,000 | 255,014,549 | 630,589,626 |
| 特定資産 | | | | |
| 山陰・夢みなと博覧会記念基金積立資産 | 21,302,000 | 0 | 21,302,000 | 0 |
| 山陰合同銀行(鳥取県庁支店) 定期預金 6563810 | 21,302,000 | 0 | 21,302,000 | 0 |
| 山陰・夢みなと博覧会記念基金債券 | 600,000,000 | 0 | 0 | 600,000,000 |
| 鳥取県 鳥取県平成20年度第5号債 | 600,000,000 | 0 | 0 | 600,000,000 |
| 退職給付積立資産 | 17,439,064 | 2,521,232 | 0 | 19,960,296 |
| 鳥取銀行(鳥取県庁支店) 定期預金 0000683 | 17,439,064 | 2,521,232 | 0 | 19,960,296 |
| 特定資産計 | 638,741,064 | 2,521,232 | 21,302,000 | 619,960,296 |

2 引当金の明細

(単位：円)

| 科 目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|------------|-----------|-------|-----|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 17,439,064 | 2,521,232 | 0 | 0 | 19,960,296 |

平成30年度事業計画

基本方針

人種、国籍、文化の違いを認め、尊重し、互いに支え合う多文化共生の社会づくりを実現するため、県民の国際理解と地域の活性化を図り、世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくりに寄与するための諸事業を展開していく。30年4月より装いも新たに鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）で業務を開始するにあたり、多様なメディアを活用したりニューラル広報によりその定着に努める。また、鳥取駅南という地の利を活かし、これまで以上に関係機関との連携を深めるほか、新たなニーズを踏まえた事業として、ホームページにおいて多文化共生ネットワーク会議のページを活用した多言語による相談業務及び防災・生活情報提供の充実を図るシステムを構築する。新しい事務所においても、県内随一の日本語学習教材などを活用し、コミュニケーション（言葉）の支援や人材の育成など、これまで蓄積したノウハウを活かしたサービスの充実を図るとともに、県民の国際理解を進める事業を地域に出かけて実施するなど、これまで以上に財団の存在を身近に感じていただけるような事業を展開していく。

法人管理においては、評議員会、理事会の運営を適正に行い、公益認定法人として法令を遵守し、役職員一体となって定款と内部規程に沿った業務執行体制の整備と持続可能な財政基盤の強化に努める。

1 地域の国際交流と多文化共生推進事業（公益目的事業1）

(1) 地域の国際交流推進

ア 多言語情報発信

① ホームページの運営

財団の事業やサービスを広く紹介したり、地域の国際交流・協力活動についての関心を高めるための情報提供、情報交換の場としての機能の充実をはかるとともに、多言語情報を必要としている住民にとって閲覧しやすいホームページとするため、構成の見直しなど内容の充実を図っていく。

② 多言語メールマガジンの配信

国際交流に関するイベント情報や生活情報を掲載するメールマガジン「TIM」をPC向けに日本語で配信するほか、外国語版「TORIMO」（英語、中国語、タガログ語）については携帯電話向けに配信する。また、平時より防災に対する意識啓発となるような記事を定期的に配信する。

③ 機関紙の発行

財団の事業や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」を発行する。年4回・A4 一部カラー刷 12ページ 各号2,000部 一部記事については英語・中国語でも表記

イ ボランティア活動の推進と活性化

① ボランティア登録制度の運営

通訳、翻訳、日本語学習支援、交流活動、ホストファミリー等のボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて紹介することにより、県民のボ

ランティア活動を推進する。

② 通訳ボランティアスキルアップ講座の実施

平成30年～33年にかけて県内で大規模スポーツ大会やキャンプが開催され、多くの外国人選手・関係者の来県が予定されている。本県として万全のおもてなしができる受入態勢の構築に向けて、スポーツ文化教養・各競技の専門用語・スポーツ選手への対応心得などを習得していただき大会やキャンプにおける各場面での通訳リーダーとなる人材の育成を目指すことを目的とするスキルアップ講座を実施する。

③ 団体等との連携

県内に拠点を置く国際交流・協力団体や市町村担当者と、地域の国際交流の推進と活性化のために連携して活動していくための連絡調整や情報交換を行う。また、先進的な取り組みを学び財団の事業に反映させていくための地域国際化協会連絡協議会等における研修会や意見交換会への参加、地域への貢献、外国人コミュニティとの連携などにも積極的に取り組んでいく。

なお、30年度は中国四国地区地域国際化協会連絡協議会の幹事県にあっており、9～10月頃に情報交換会と研修会を鳥取市内において開催する。

ウ 県民の国際理解推進

① 米国バーモント州との青少年交流促進事業の実施

国際的視野をもった青少年の育成を図るとともに、鳥取県と米国バーモント州とのさらなる交流を促進するため、県内の高校生等をバーモント州に派遣する。派遣中はホームステイを通じて生きた英語に触れながら文化や生活習慣を学び、現地の高校生と共に環境学習や米国の学校生活を体験するなどの交流を行う。また、同州の高校生を県内に受け入れ、鳥取県の自然・歴史・文化などの体験プログラム、ホームステイ、高校の授業参加などを通じた相互交流事業を展開する。（受入：4月23日～5月1日、派遣：10月下旬を予定）

また、鳥取県とバーモント州との姉妹提携とあわせて、現在行っている「環境学習を通じた青少年の相互交流」について現地カウンターパートとの交流提携のため役職員の派遣等を行う。

② ジャマイカ交流紹介推進業務の実施

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、ジャマイカのホストタウンとしての機運醸成を図るため、県内で開催される国際交流イベントでジャマイカブースの運営など県民がジャマイカ文化等にふれる機会を創出する。

エ 私費留学生奨学金の支給

① 県内の高等教育機関に在籍する私費留学生（11名分）に対し、月額2万円の奨学金を支給し勉学生活を支援する。なお、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として当財団や地域の国際交流活動への貢献を促す。

② 平成26年度に新設した「環日本海交流地域私費外国人留学生奨学金制度」枠（4名分）を引き続き運営し、一般奨学生と同様に月額2万円の奨学金を支給することで、環日本海交流地域との交流の牽引役として協力を期待し、地域の国際交流事業への積

極的な参画を促していく。

オ 交流拠点の運営

① 全県的な国際化推進のため、本所、倉吉事務所、米子事務所を運営し、国際交流、国際協力、多文化共生の拠点としての機能充実を図り、関連図書や外国語学習教材、日本語教材、外国語の新聞・雑誌、民族衣装等を整備し、利用者の閲覧及び貸出に供する。また、本所においては、毎月第2日曜日の午後には行政書士による在留資格相談日を設ける。

② リニューアル広報事業

公的な広報媒体に加えて、時期を集中しテレビ・ラジオ・インターネットといった多様なメディアをミックスした広報戦略など、さまざまな手法で在住外国人のみならず地域で財団の存在を知っていただくことで、幅広い利用者を開拓していくことにもつなげていく。

(2) 多文化共生推進

ア コミュニケーション支援

① 専門通訳ボランティアの派遣

関係機関または外国出身者からの要請に応じて、登録している医療通訳ボランティアを医療及び保健機関等に派遣し、また同じく登録しているコミュニティ通訳ボランティアを保育園・幼稚園や学校、福祉等の行政窓口へ派遣し、医療や適切な制度説明等に必要と言葉の支援を行う。増加する派遣要請に対応できるよう予算を拡充して取り組むこととする。

② 国際交流コーディネーターの配置

外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏及び中国語圏出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話等により、さらにトリオフオン（三者通話機能）も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行う。また、ホームページやメールマガジン、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を務めるなど地域の国際交流事業にも積極的に参画していく。（英語圏出身1名、中国語圏出身3名）

③ 日本語クラスの運営

外国出身者が日常生活の上で必要最低限のコミュニケーション能力を身につけ、自立した生活を送る一助となるよう、専任講師とボランティアによるクラス形式の日本語教室を運営する。近年、主にベトナム人技能実習生の増加等により東部・西部における学習希望者が急増しているため、十分なスペースのある会場の確保と講師の配置を行う。

<東部：日曜日 ゼロクラス・基礎クラス①②・初級クラス（会話クラス・生活漢字クラス）・中級クラス・子ども日本語コース>

<中部：水曜日 基礎クラス、日曜日 基礎クラス、応用・漢字クラス>

＜西部：日曜日 ゼロクラス、基礎クラス、初級クラス＞

④ 防災・災害時支援事業の実施【拡充】

30年度は当財団ホームページに「多文化共生ネットワーク会議・多言語情報ページ（仮称）」を設け、ネットワーク会議委員が核となって充実した多言語による情報発信システム（委員等の協力により日本語のほか11言語（英語・中国語（簡体字・繁体字）・ポルトガル語・スペイン語・フランス語・韓国語・ロシア語・タガログ語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語）の相談テンプレートを配置）により、限りなく言葉の障壁を低くしつつ、相談者・回答者双方のプライバシーにも配慮しながら多様な相談に対応する。

また、大規模災害時に、災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除き、外国人が防災についての知識を得る等、実際に体験してみることのでいざというときに備える意識を醸成するため、日本語クラスなどを利用した防災学習を行う。また、地域国際化協会各地域ブロックにおいても、引き続き広域災害時における連携・支援体制の検討のためのシミュレーションや研修を進めていく。

⑤ 多言語相談業務の実施【新規】

④で構築するシステムを運用するソフト面での対応として、多言語テンプレートによる相談内容の翻訳（回答）及び専門機関への同行や相談内容に応じた専門機関等との連携を行っていく。

イ 人材の育成

① 専門通訳ボランティア育成事業の実施

専門知識、対人援助能力などを学んだ医療及びコミュニティ通訳ボランティアの更なる資質向上を目指したフォローアップ講座を開催する。また、登録者の自発的な活動の促進にも重点を置き、勉強会や意見交換会等の側面的な支援を行う。

② 日本語講師・ボランティア養成講座の実施

日本語クラス講師・パートナー、日本語ボランティアなど県内在住外国出身者の日本語学習支援に関わる人材のブラッシュアップ講座や、これからの活動に意欲のある人を対象にした研修会を、県内三地域の実状に合わせた形で実施するほか、登録者の自発的活動を促進するため勉強会や意見交換会等の側面的な支援を行う。

2 海外移住・海外技術協力支援事業（公益目的事業2）

(1) 県費留学生・研修員等の受入れ

鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を招き、必要な技術を習得、研究することで母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成し、併せて県民との友好親善の担い手となることを目的に、県からの委託を受けて、県内で技術研修を行う研修員等の受入業務を行う。

ア 韓国江原道相互派遣研修生受入事業

イ ブラジル交流促進事業

ウ 自治体職員協力交流研修員受入事業（中国吉林省、ジャマイカ・ウエストモアランド県）

3 山陰・夢みなと博覧会記念基金活用事業（公益目的事業3）

(1) 基金による助成

県民参加型の地域の国際化に資する交流事業を支援するための助成制度を運営する。

ア 海外教育旅行に対する助成

本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、山陰唯一の国際定期便である米子ソウル便及び環日本海定期貨客船の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成する。（パスポート（5年）相当分の半額として5,500円を全員に交付。ただし、米子-ソウル便・香港便及び環日本海定期貨客船を利用した場合には、1万円を上乗せして交付。）

イ 民間国際交流・協力事業に対する助成

県内に拠点をおく民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同一年度内に一団体あたり合計で300万円（青少年事業を含む場合は500万円）を上限に助成する。

(2) 基金による県民参加型多文化交流事業

ア 子どものための異文化理解体験講座の実施

小学生を対象に、外国人講師との多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験によりさまざまな国の文化に触れ、世界の中の日本について考える機会を提供する講座を、学校に直接出向く出張型で実施する。

イ 国際交流フェスティバルの実施

多文化共生社会の実現に向けて、誰でも気軽に交流ができる機会を広く提供するとともに県民と在住外国出身者との協働による異文化理解の促進を目指して、県内三地区で国際交流フェスティバルを実施する。（東部10月21日、中部11月25日、西部9月24日を予定）

ウ 多文化共生ネットワーク・ステップアップ事業

県内で外国人の定住化が進む中で、多様な文化を持つ人々が尊重し合いながら生活していく地域づくりに向けて、28年度から取り組んでいる外国出身者との意見交換の場としての「多文化共生ネットワーク会議」の運営と企画協働事業を実施するほか、その会議の代表者と県・市町村等の関係機関実務者も加わった「多文化共生ネットワーク推進会議」を継続的に実施する。

収 支 予 算 書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

| 科 目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|-----------|-----------|----------|-----|
| | 千円 | 千円 | 千円 | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,072 | 4,976 | △ 3,904 | |
| 特定資産運用益 | 7,803 | 7,803 | 0 | |
| 受取会費 | 200 | 200 | 0 | |
| 受取補助金等 | 91,656 | 87,917 | 3,739 | |
| 受取負担金 | 150 | 150 | 0 | |
| 受取寄附金 | 25,873 | 21,302 | 4,571 | |
| 雑収益 | 8 | 8 | 0 | |
| 経常収益計 | 126,762 | 122,356 | 4,406 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 132,023 | 127,183 | 4,840 | |
| 職員給与費 | 25,640 | 24,229 | 1,411 | |
| その他事業費 | 106,383 | 102,954 | 3,429 | |
| 管理費 | 1,500 | 2,258 | △ 758 | |
| その他管理費 | 1,500 | 2,258 | △ 758 | |
| 経常費用計 | 133,523 | 129,441 | 4,082 | |
| 当期経常増減額 | △ 6,761 | △ 7,085 | 324 | |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 6,761 | △ 7,085 | 324 | |
| 一般正味財産期首残高 | 16,431 | 19,941 | △ 3,510 | |
| 一般正味財産期末残高 | 9,670 | 12,856 | △ 3,186 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 一般正味財産への振替額 | △ 25,873 | △ 15,000 | △ 10,873 | |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 25,873 | △ 15,000 | △ 10,873 | |
| 指定正味財産期首残高 | 1,245,488 | 1,257,634 | △ 12,146 | |
| 指定正味財産期末残高 | 1,219,615 | 1,242,633 | △ 23,018 | |
| III 正味財産期末残高 | 1,229,285 | 1,255,489 | △ 26,204 | |

収 支 予 算 書 内 訳 表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|---------------|----------|-------|--------|-----------|
| | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | | 1,072 | | 1,072 |
| 特定資産運用益 | 7,800 | 3 | | 7,803 |
| 受取会費 | 100 | 100 | | 200 |
| 受取補助金等 | 91,656 | | | 91,656 |
| 受取負担金 | | 150 | | 150 |
| 受取寄附金 | 25,873 | | | 25,873 |
| 雑収益 | | 8 | | 8 |
| 経常収益計 | 125,429 | 1,333 | 0 | 126,762 |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 132,023 | | | 132,023 |
| 職員給与費 | 25,640 | | | 25,640 |
| その他事業費 | 106,383 | | | 106,383 |
| 管理費 | | 1,500 | | 1,500 |
| その他管理費 | | 1,500 | | 1,500 |
| 経常費用計 | 132,023 | 1,500 | 0 | 133,523 |
| 当期経常増減額 | △ 6,594 | △ 167 | 0 | △ 6,761 |
| 2 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 6,594 | △ 167 | 0 | △ 6,761 |
| 一般正味財産期首残高 | | | | 16,431 |
| 一般正味財産期末残高 | | | | 9,670 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 一般正味財産への振替額 | △ 25,873 | | | △ 25,873 |
| 当期指定正味財産増減額 | △ 25,873 | 0 | 0 | △ 25,873 |
| 指定正味財産期首残高 | | | | 1,245,488 |
| 指定正味財産期末残高 | | | | 1,219,615 |
| III 正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 1,229,285 |